

テクノス通信 VOL. 10 Mar.2010



「専用受信器タイプのご活用について」

テクノスジャパンの離床センサーは、「ナースコール連動タイプ」「専用受信器タイプ」2つの報知方法に分かれています。現在、現場の皆様にお使いいただいているのは「ナースコール連動タイプ」が主流ですが、現場状況・環境によっては、「専用受信器タイプ」の方が有効にご活用いただけるケースもあります。今回はその活用方法について特集しましたので、ご参考ください。



- ナースコール呼び出しとセンサー作動報知の鳴り分けができれば…
- ナースコール設備を持たない場所でも離床センサーを使いたい…
- ナースコールが複数機種入っているため、連動タイプの導入・管理が難しい…
- メロディでどの(対象者の)センサーが報知しているか識別できれば…
- 夜間スタッフの人数が足りない巡回中などにも報知を受信できれば…

このような時は専用受信器タイプが便利です！

ナースコール報知と区別で迅速な対応！

ナースコールと鳴り分けができるため、報知に対して優先的に対応をすることができます。また、固定型の受信器ならメロディで識別できるので、受信器の表示を確認しなくても、どの対象者のセンサーが作動したかが分かります。



昼と夜で受信器を使い分け！

昼間はステーションでより多くのスタッフが気付くように固定型、夜間はスタッフ数が少ない中での巡回中などに、持ち歩けるように携帯型、などの使い分けができます。

昼間



夜間



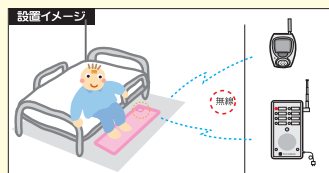
その場で確認！より早い対応！

携帯型の受信器なら、ステーションまで戻らなくても、どの対象者のセンサーが作動したかわかり、より早いタイミングで対応することが可能です。(液晶表示でお知らせします)



精神病棟に完全コードレス仕様！

センサーに全くケーブルがないハイパーマットタイプは、居室にケーブルが一切無い状態で設置できますので、精神病棟などでも安心してお使いいただけます。



その他にも…

- 夜間巡回中のみ、固定型の受信器をワゴンなどに乗せ移動することで、報知を見逃さないようにしている。(内蔵電池による一時的な使用方法です。通常はACアダプタにてご使用下さい。)
- ナースコール設備を持たない施設などで、タッチコール(柵を握ると報知)を使い、ナースコール代わりに使用している。(別売の「押しボタンスイッチ」も使用可能です)

など…

受信器は「携帯型」「固定型」の2タイプ！全てのセンサーとの組合せが可能です！



携帯型受信器

- 受信器を携帯して移動が可能。
- アラーム音または、パイプで報知。
- 液晶表示で8人まで識別が可能。
- 腕バンドでも首かけストラップでも使用が可能。



固定型受信器

- ランプと音色で8人まで識別が可能。
- 報知音はメロディまたは、電子音で8種類。
- 報知鳴動時間を設定できます。(10秒・30秒・連続)

到達距離を延長！無線中継器



電波到達距離を約100m延長することができます。

無線だと電波の影響が気になる…

専用受信器タイプに使用している電波は、特定小電力(100mW)です。こちらは、携帯電話の約1/100の出力となっているため、人体や医療機器に与える影響は極めて小さいと言えます。